

ロジックを学んで、社会に巣立ってほしいと考えています。



▲総合テクノロジー科の教材として使われる予定の電気自動車。

この学科でどんな資格が取れるの？

この総合テクノロジー科で、次の資格などが取得可能です。

- ・第1級陸上特殊無線技士
- ・工事担任者（デジタル3種）
- ・家電製品エンジニア
- ・家電製品アドバイザー
- ・CAD利用技術者
- ・ビジネス能力検定

『自動車工学科』ってどんな学科？

今や自動車は、電子制御やコンピュータ技術を駆使したハイテク自動車に大きく変わろうとしています。環境保護や安全性、快適性、経済性など多様なニーズの実現に向けて、次々に新しい技術が導入され続けています。

このような新しい技術に対応できる能力を身につけた人材を社会へ送り出すと、自動車工学科を設置すること

にしました。



▲実習でエンジンの構造を勉強する学生。

自動車工学科では、本格的な実習場と最新の専門試験機器をそろえた『自動車工学科実習棟』を完備し、カリキュラムの半分を実習時間にあてるなど、社会に出て即戦力となる人材育成を目指します。

この学科でどんな資格が取れるの？

この自動車工学科は、社会に出てから役立つさまざまな資格の取得が可能です。

また、二級自動車整備士資格は、日本工学院北海道専門学校を卒業すると実技試験が免除できるように国土交通省に申請しています。

◎認定資格として（※申請中）

- ・二級ガソリン自動車整備士（実技試験免除）
- ・二級ディーゼル自動車整備士（実技試験免除）

◎主な取得可能な資格

- ・ガス溶接技能講習
- ・アーク溶接特別教育
- ・タイヤの空気充填作業特別教育

危険物取扱者

・低圧電気取扱特別教育

・有機溶剤作業主任者

・第1級陸上特殊無線技士



▲直接エンジンに触れて勉強する学生。

『ソーラーチャレンジin北海道2001』に出場

総合テクノロジー科と自動車工学科の設立に先駆け、そのデータ収集を目的に、機械制御工学科と電子工学科の学生と教員とで、設計・製作に取り組み、ソーラーカーを完成させました。

この完成したソーラーカーは、今年7月、北見市で開催されたソーラーカーレースに出場し、リタイアする車

で完走した教員と学生とで完成したソーラーカー『SOUTEC-1』



▶ソーラーカーを完成させた学生と教員。

が出る中で見事完走。『日本航空賞』を受賞しました。

このデータを基に、今後も総合テクノロジー科の実習の中でこのようなソーラーカーの設計・製作に取り組み、各地で行われる大会に参加しようと考えています。

新たな新設科の取り組みを進めています

21世紀を迎え、日本はかつてない早さで高齢化の階段を駆け上がっています。単に高齢人口の増加にとどまるだけでなく、政治や経済、社会、文化など、あらゆる分野に影響を及ぼすことが予想されます。

こうした状況を受け、今後の高齢化社会への貢献を目的に、新たな医療技術分野『いやし系医療』における人材育成を図ろうとしています。

高齢化社会に対応するほか、スポーツトレーナーなどの専門職として、人格、学識そして技術を持ち合わせた人間性豊かな、はり師やきゅう師の養成を行う『しんきゅう科』と『柔道整復科』の来年春開設に向けて、現在準備を進めています。

平成14年度学生募集	
募集学科	定員
行政学科	40人
情報処理科	160人
マルチメディア科	80人
自動車工学科	50人
総合テクノロジー科	40人
電気工学科	40人
建築学科	50人
土木工学科	50人

※修業年数は、各学科2年制です。